

発行日：2025年4月8日

# エコアクション21 環境経営レポート

2024年度版  
(1~12月)

〈第20版〉



サステン株式会社  
森町事業所

# 目 次

表紙	.....	1
目次	.....	2
会社紹介	.....	3・4
I. 組織の概要	.....	5・6
II. 事業活動の概要	.....	7・8
III. 環境経営方針	.....	9
IV. 環境経営目標	.....	10
V. 2024年活動実績	.....	11～15
VI. 2025年活動目標及び活動計画	.....	16・17
VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認	.....	18
VIII. 代表者による全体評価と反省	.....	19・20

# 会社紹介

私たちサステン株式会社は、静岡県周智郡森町の**本社・森町事業所**、袋井市の**袋井事業所**と**袋井インター営業所**、熊本県八代市の**八代事業所**、の4つの拠点から成り立っています。社員が気軽に利用できる施設として、自然の恵みを肌で感じることが出来る**ログハウス【ELDORADO in森】**を保有しています。  
～グループ企業～  
1978年にオートバイ部品組立工場として独立したサステン工業株式会社があります。

## 本社・森町事業所

静岡県周智郡森町森1408

・総務系部門

静岡県周智郡森町森1418-1

・木製パレットを中心に、包装資材・物流パレットの取り扱い



## 袋井事業所

静岡県袋井市新池700(ヤマハ発動機株式会社内)

・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装



## 袋井インター営業所

静岡県袋井市川井1338-1

・ヤマハ発動機製船外機パーツ部品の包装

## 八代事業所

熊本県八代市新港町4-8(ヤマハ熊本プロダクツ株式会社内)

・ヤマハ発動機製船外機の梱包、パーツ部品の包装



## 福利厚生施設 ELDORADO in 森

静岡県掛川市炭焼字横道284



# サステン株式会社のあゆみ

1913年(大正2年)	友田木材店として静岡県周智郡森町吉川に製材工場を創立し、主に建築材の生産を開始する
1944年(昭和19年)	戦時下において設備資材の供出命令により一時工場閉鎖
1947年(昭和22年)	新たに社名を天原木材株式会社と改め生産を再開する
1963年(昭和38年)	生産規模および流通の拡大に伴い当地方において、いちはやく現在地に製材工場を建設すると共に、社名をサステン木材株式会社と改め、関東地方を主力に広く一般建築材の供給に努める
1970年(昭和45年)	新規に梱包材およびパレットなどの物流資材分野に進出し、工場内に組立ラインを設置し、原木から最終製品までの一環体制を確立する
1971年(昭和46年)	主に製品の規格化および品質の適正化に関し、農林水産省よりJSA認定工場として指定を受ける
1972年(昭和47年)	三信工業株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)からヤマハ船外機が初めてアメリカ市場に輸出されるのを契機にサステン梱包株式会社を創立し包装業界に進出
1979年(昭和54年)	ヤマハ発動機株式会社関連商品の専門店(YSP袋井)として、静岡県袋井市に株式会社エルドーラードコーポレーションを設立し、オートバイの販売を開始
1990年(平成2年)	業界の将来を展望し、経営強化を図るべくサステン木材株式会社とサステン梱包株式会社を合併、社名をサステン株式会社とし本社事業所、浜松事業所を開設する
2000年(平成12年)	ヤマハ熊本プロダクツ株式会社の船外機生産開始に伴い、八代事業所を開設し梱包作業を請負う
2006年(平成18年)	エコアクション21認証取得【サステン株式会社 本社事業所】
2008年(平成20年)	ヤマハマリン株式会社(現ヤマハ発動機株式会社)の船外機組立工程の袋井工場移管に伴い、袋井事業所を開設する
2011年(平成23年)	組織強化を図るべく、浜松事業所を閉鎖し袋井事業所に吸収する
2013年(平成25年)	サステン株式会社 創立100年を迎える サステン株式会社を存続会社とし株式会社エルドーラードコーポレーションを吸収合併 サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)となる
2015年(平成27年)	袋井インター営業所 開設
2017年(平成29年)	サステン株式会社モーターサイクル事業部(YSP袋井)を、有限会社エルドーラード浜松へ譲渡
2019年(令和元年)	本社事業所を新築移転
2020年(令和2年)	本社事業所を森町事業所に改称

仕事の仲間の縊と  
地域社会に育てられた100年企業。  
縊と感謝を忘れず誠実に  
社会の要望の変化に対応し  
貢献していきます。

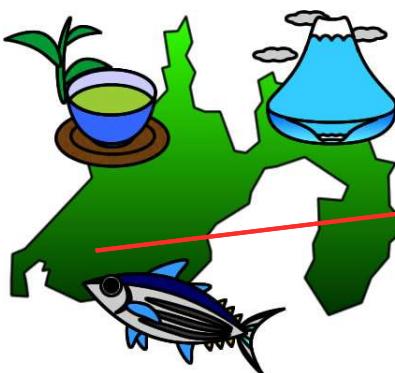


代表取締役社長 友田 裕人

# I. 組織の概要

## 事業概要

- ◆ 事業所名 :サステン株式会社 森町事業所
- ◆ 代表者名 :代表取締役 友田裕人
- ◆ 所在地 :〒437-0215 静岡県周智郡森町森1418-1
- ◆ 連絡先 :TEL 0538(85)3388  
FAX 0538(85)3389
- ◆ ホームページ :<https://www.sasten.co.jp>



## 事業内容及び事業規模(2024年1月～12月)

- ◆ 認証・登録範囲 :梱包材(木材・ダンボール)の加工・組立
- ◆ 資本金 :2,600万円
- ◆ 年間売上高 :1,821百万(うち森町事業所320百万)
- ◆ 社員数 :80名
- ◆ 敷地面積 :1,140.0m<sup>2</sup>
- ◆ 建設床面積 :974.8m<sup>2</sup>

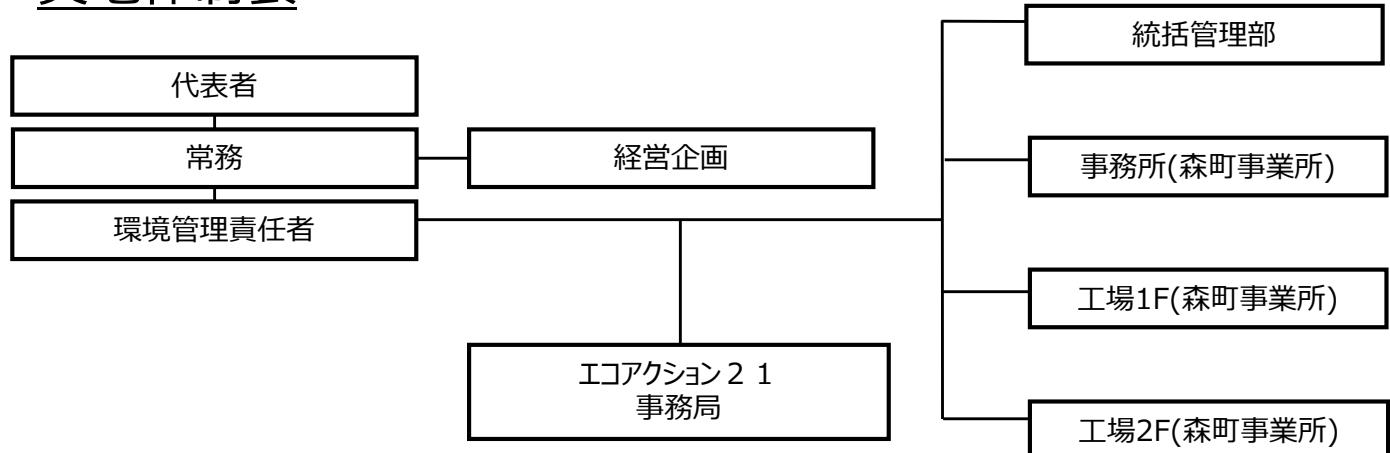
## エコアクション21への取り組みの歴史

- 2005年 9月 エコアクション21取得活動開始  
12月 環境方針 制定
- 2006年 4月 マニュアル制定  
4月 第1回改定  
6月 第2回改定  
11月 エコアクション21 認証取得  
【認証・取得番号 0001145】
- 2009年 8月 低公害車【ダイハツ・ミライース】  
を導入し、保有台数を見直した
- 2009年 9月 バッテリー式フォークリフト導入
- 2011年 9月 PCB廃棄物のうち、コンデンサーを処理・搬出
- 2012年 10月 環境方針 改定
- 2016年 6月 PCB廃棄物のうち、トランスを処理・搬出
- 2018年 7月 環境方針、マニュアル改定
- 2019年 5月 新工場稼働に伴い環境負荷低減機器導入  
【チラー(水循環装置)、LED】
- 2021年 11月 本社1F通路、社長室、事業推進室の電灯をLEDに更新
- 2023年 3月 森町事業所太陽光発電導入

## II. 実施体制

- 1) 代表者は、環境管理責任者を指名し、エコアクション21の運用における責任と権限を与え、所属、役割等に係りなく保証する。
- 2) 代表者は、エコアクション21の実施及び管理に必要不可欠な資源を用意する。資源には、人的資源及び専門的な技能・技術並びに資金を含む。
- 3) 環境推進委員会は、森町事業所及び統括管理部、経営企画で構成し、エコアクション21活動全般について検討する。

### 実地体制表



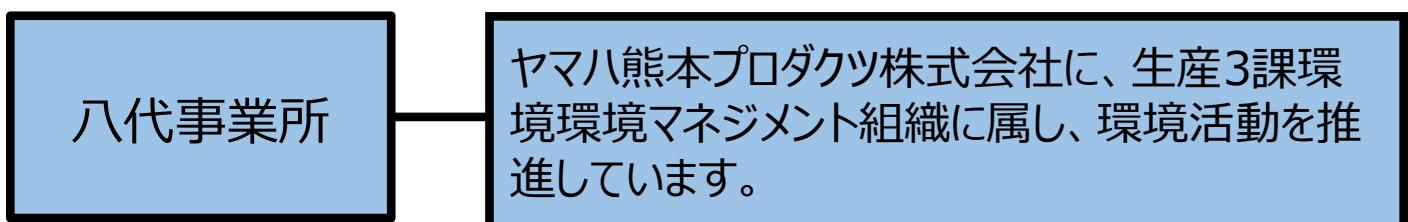
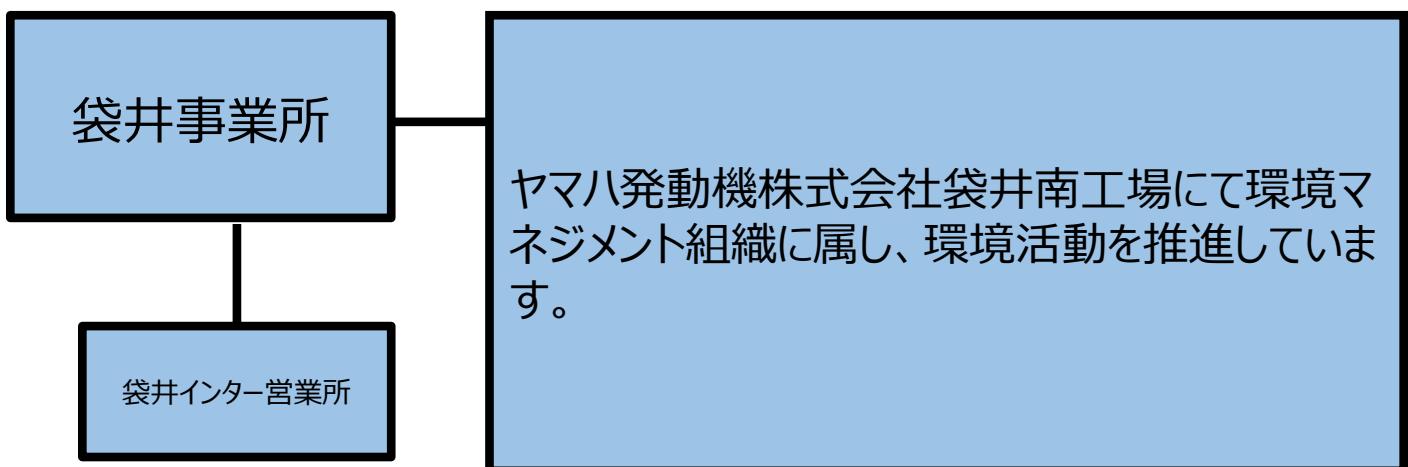
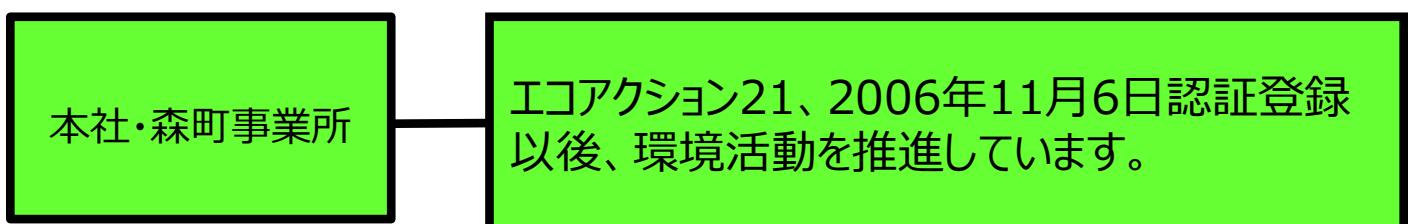
<b>代表者</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営に関する責任統括</li><li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な陰々、設備、費用、時間等の用意</li><li>・環境管理責任者の任命</li><li>・環境経営方針・環境経営目標の策定</li><li>・環境目標の設定の承認</li><li>・代表者による全体の評価と見直しの実施</li><li>・環境経営レポートの承認</li></ul>
<b>環境管理責任者</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li><li>・環境関連法規制等の登録及び管理</li><li>・環境活動実施計画の承認</li><li>・教育訓練の実施</li><li>・マネジメントレビューの実施、取組結果を代表者へ報告</li><li>・環境経営レポートの確認</li></ul>
<b>エコアクション21 事務局</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進会議に事務局</li><li>・環境への負荷の自己チェック及び、環境への取組の自己チェックの実施</li><li>・環境活動の実績集計</li><li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li><li>・各種記録の保管</li><li>・環境経営レポートの作成</li></ul>
<b>全従業員</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li><li>・自主的・積極的に環境活動へ参加</li></ul>

## 各事業所の環境活動

袋井事業所は、ヤマハ発動機株式会社殿の社内請負会社として事業を展開しています。

環境活動においては、ヤマハ発動機株式会社殿のメンバーの一員として活動を共にしています。

熊本県八代市にある八代事業所につきましても、ヤマハ熊本プロダクツ株式会社殿の社内請負会社として事業を展開し、環境活動組織に属し共に活動を推進しています。



### III. 環境経営方針

#### 環境経営方針

地球環境問題を人類共通の重要課題と認識し企業活動の全ての分野で環境負荷の低減を図り持続可能な社会(SDGs)へ貢献します。

#### 環境経営目標

カーボンニュートラルの実現はヤマハ発動機様と同じ2035年を目指し計画を立案、率先実行達成することで企業の存続と企業価値を高めます。

#### 行動指針

わたしたちは常に環境目標を定め、次に掲げる環境負荷低減活動に取り組み『より良い人と自然との調和』を実現するための環境経営をすすめていく

1 『二酸化炭素排出削減』に努め、地球温暖化防止を推進します。

1 『産業廃棄物削減』に努め、省資源リサイクル化を推進します。

1 『水、電力、油の削減』に努め、省エネルギー化を推進します。

1 『製品及びサービスの環境配慮とグリーン購買』に努めます。

1 『環境関連法令の遵守』に努めコンプライアンスを徹底します。

1 『化学物質の適正な管理』に努めます。

2018年7月1日 全面改定

2023年4月1日 一部改訂

2024年10月1日一部改訂

サステン株式会社

代表取締役社長

友田 裕人

## IV. 環境経営目標

### 2024年 目標と活動計画

#### 活動目標

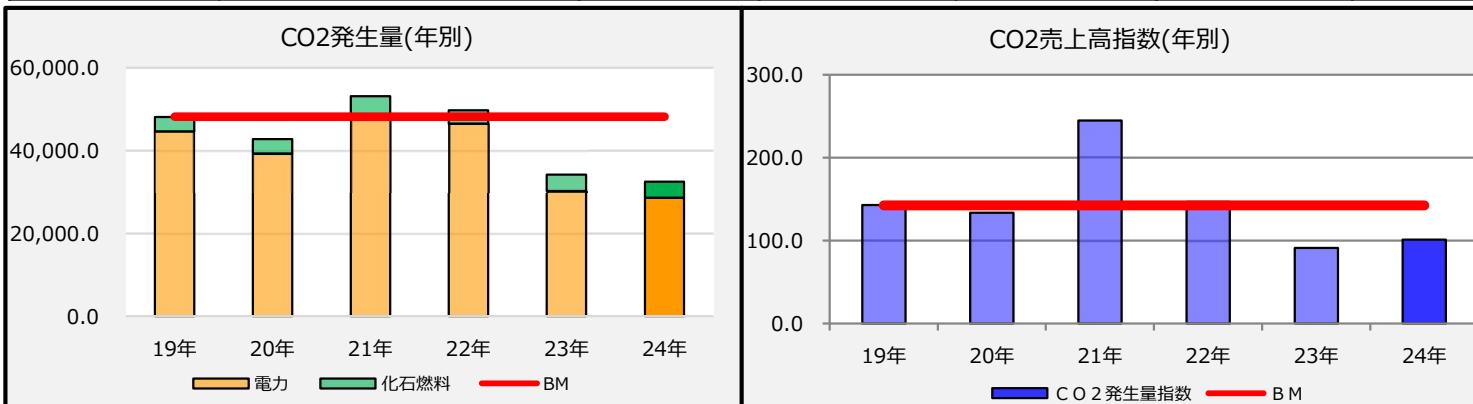
2023年～2025年の目標値は原単位で2021～2022年の実績平均値を維持することに努力／活動する事としています。

取組項目	単位	2021～2022年 実績平均値＝ 2023～25年目標値	2024年目標値
CO2排出量	購入電力	kg-CO2	47,625
		kwh	113,824
		Kwh/売上高 (百万円)	313
	化石燃料	kg-CO2	4,188
		L	1,805
		L/売上高 (百万円)	4.95
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	47.4
		kg/売上高 (百万円)	0.13
	産業廃棄物	kg	703
		kg/売上高 (百万円)	1.93
総排水量	総排水量	m <sup>3</sup>	177
		m <sup>3</sup> /売上高 (百万円)	0.48
グリーン購入		グリーン購入適合商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進	
化学物質管理		使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握	
製品サービス		リサイクルしやすい製品の ・開発と可能性の検討	

# VI. 2024年活動結果

## 各項目の削減結果と判定

取組項目		単位	2024年目標	2024年実績	結果(増減)	判定
CO2排出量	購入電力	kg-CO2	47,625	28,633	-18,992	○
		kwh	113,824	62,383	-51,441	○
		Kwh/売上高(百万円)	313	194	-119	○
	化石燃料	kg-CO2	4,188	3,879	-309	○
		L	1,805	1,671	-134	○
		L/売上高(百万円)	4.95	5.21	+0.26	×
事務所廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	47.4	72.5	+25.1	×
		kg/売上高(百万円)	0.13	0.23	+0.10	×
産廃排出量	産業廃棄物排出量	kg	703	472 <small>(うち再資源化量314kg)</small>	-231	○
		kg/売上高(百万円)	1.93	1.47	-0.46	○
総排水量	総排水量	m³	177	134	-43	○
		m³/売上高(百万円)	0.48	0.42	-0.06	○
グリーン購入	グリーン購入適合品商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進		少量の為現状把握	少量のため現状把握		○
化学物質管理	SDSの保管 PRTR法対象物質の把握		少量の為現状把握	少量の為現状把握		○
製品サービス	リサイクルしやすい製品の開発の可能性検討		現状維持	活動維持		○



※ 電力排出係数『0.449Kg-CO2/kwh』を使用：中部電力ミライズ(株)(2023年1月23日公表)を使用しています。  
※ 化石燃料（ガソリン）『0.0671Kg-CO2/MJ × 34.6MJ/L=2.322kg-CO2/L』を使用しています。

# 2024年の活動結果内容

## 各項目の内容《原単位上の評価となります》

### 購入電力削減

購入電力は2023年設置した太陽光パネルの効果により購入量はBMに対して大幅に減少しました。売上高はBMに対して▲12%となりましたが購入量が大きく削減できたため原単位は目標達成となりました。

### 化石燃料削減

化石燃料は給油量はBMに対して▲134L削減(▲7.4%)できましたが、売上高の減少により原単位は+5.2%増加し目標未達となりました。

### 廃棄物排出量削減

産業廃棄物は、生産量が減少したことにより総量が大きく減少した結果、原単位は対BM▲29%となり目標達成となりました。

### 水使用量削減

水は散水等減により使用量が大幅に減ったことにより原単位は対BM比▲19%となり目標達成となりました。

### グリーン購入

パレットの主原料である木材の購入は、間伐材の割合が95%以上であり、来期以降においてもお客様へ間伐材使用製品の推奨に努め活動をしていきます。

### 化学物質の管理

今年度、PRTR法にて管理される薬品類は、社内での使用はありませんでした。

### 生物多様性への対応

幅広いテーマの中で、当社の事業に関係したインプット・アウトプット、社会貢献活動の中で生物多様性に悪影響を与えていたる物／活動は特にありませんでした。

### 製品サービスについて

リサイクルしやすい製品の開発設計を常に意識、検討中ですが、製品耐久度とのバランス、また、製品が顧客様の使用汎用性が高く、耐荷重性等の使用設定が難しくなっています。

※ BMの2021～2022年の実績平均数値は、生産量が一定以上に確保され条件的に良好な環境下での達成値です。

# 過去3年間の環境目標及び実績 (2022年～2024年)

取組項目	単位	目標/実績	2022年	2023年	2024年
CO2排出量	購入電力	kg-CO2	目標	44,668	47,625
			実績	46,547	30,272
	化石燃料	kg-CO2	目標	3,533	4,187
			実績	3,203	3,922
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	目標	38.6	47.4
			実績	50.5	65.2
	産業廃棄物	kg	目標	525	703
			実績	679 <small>(うち再資源化量513)</small>	516 <small>(うち再資源化量345)</small>
総排水量	総排水量	m³	目標	219	177
			実績	180	144
グリーン購入	適合品採用	グリーン購入適合品商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進	少量の為 現状把握	少量の為 現状把握	少量の為 現状把握
化学物質管理	購入化学品	使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握	少量の為 現状把握	少量の為 現状把握	少量の為 現状把握
製品・サービス		リサイクルしやすい製品の ・開発と可能性の検討	活動維持	活動維持	活動維持

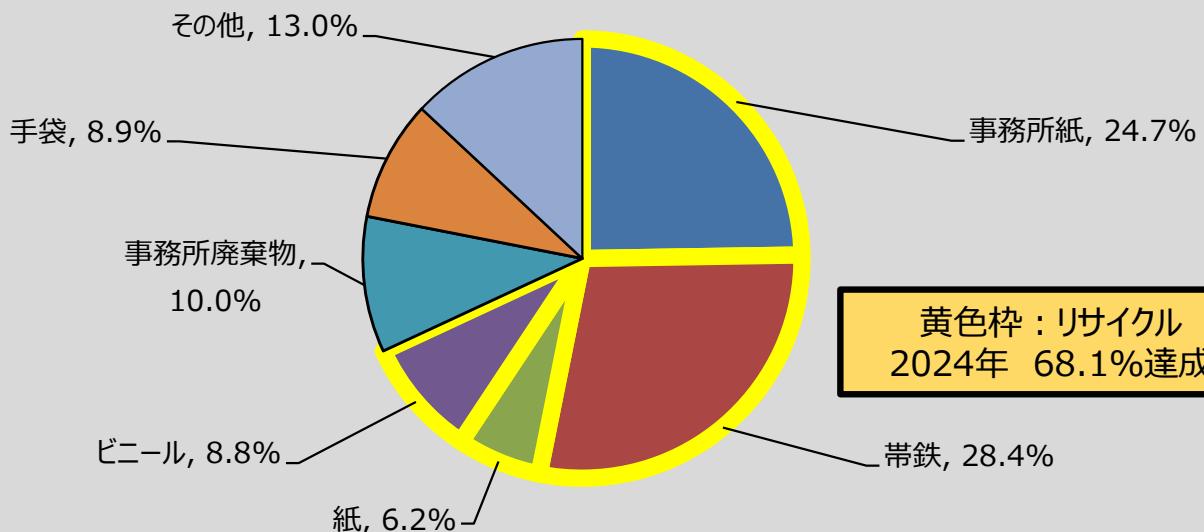
※2023年購入電力kg-CO2は排出計数を0.449へ変更して表示

# 2024年 活動計画及び評価

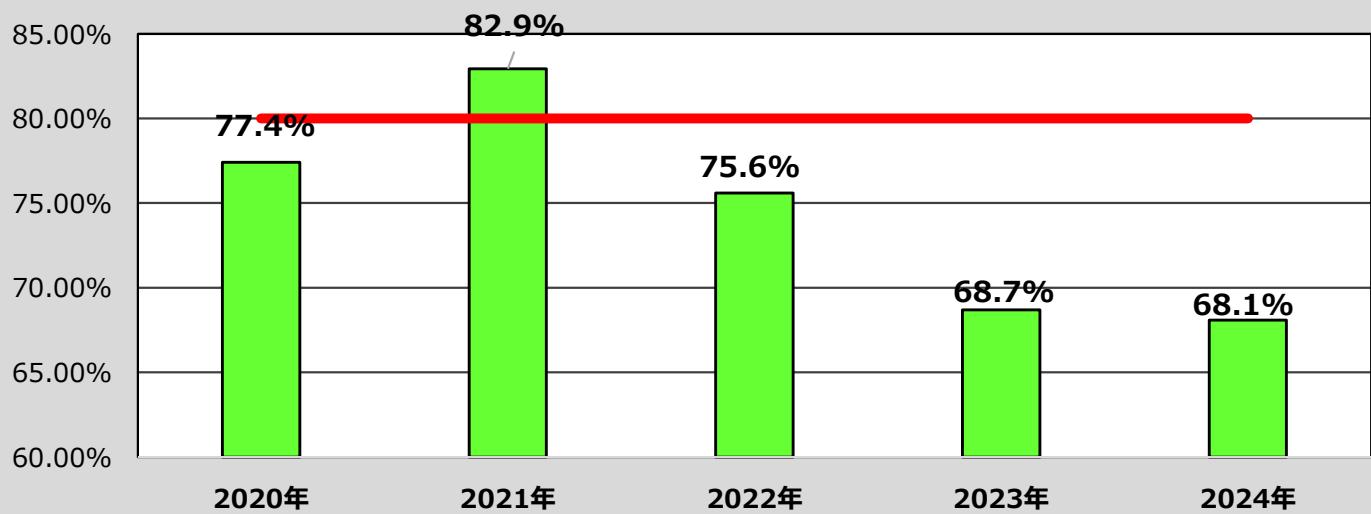
2024 年度 活動計画及び実績													計画・実施履歴		改訂履歴		2025 年 1月 13 日		
													→ 計画 実施		1 月 日	承認	作成	坂本	小川
No.	取組項目	具体的活動内容	責任者	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	コメント		
1	二酸化炭素排出量削減	1 購入電力の削減																	
		① 昼休みの消灯	全員													○	徹底されている		
		② コンプレッサーの昼休みの停止	全員													○	徹底されている		
		③ パソコン電源ごとにOFF	全員													○	徹底されている		
		④ 低負荷照明器具の検討	管理者													○	LED化完了		
		⑤ エアコン設定温度の厳守 暖房20度、冷房28度	全員													×	設定温度を26度で管理、除湿機能を併用		
	2 化石燃料の削減	2 化石燃料の削減																	
		① アイドリングストップ	全員													○	徹底されている		
		② 燃料給油時の空気圧チェック	全員													○	半年に1度空気圧チェック		
		③ 車輌整備の徹底	車輌管理者													○	1年に1度業者点検		
2	廃棄物排出削減	3 一般廃棄物の削減																	
		① 裏紙使用の徹底	全員													○	徹底されている		
		② 紙による資料配布の低減	全員													○	シェアポイントで資料を共有		
		③ 印刷は、必ず設定確認後のスタート（印刷ミスの削減）	全員													○	徹底されている		
	4 産業廃棄物の削減 「リサイクルによる削減」	4 産業廃棄物の削減 「リサイクルによる削減」																	
		① 廃棄物リサイクル率の検証と向上	EA21事務局													○	徹底されている		
		② 分別発送の徹底	全員													○	徹底されている		
		③ 納入業者への梱包材仕様の改善提案	職長を中心に													○	納入業者への不良率の報告実施、顧客への梱包仕様変更提案実施		
3	化 物 学 質	5 購入品のチェック																	
	① SDSの管理	① SDSの管理	EA21事務局													×	購入業者に確認		
4	多 様 性	6 環境負荷対策商品の利用																	
		① 事務用品のグリーン化の推進	EA21事務局													○	徹底されている		
		② 木材の間伐材使用の推進	環境管理責任者													○	徹底されている		
5	グリーン購入	7 環境負荷対策商品の利用																	
	① 事務用品のグリーン化の推進	① 事務用品のグリーン化の推進	EA21事務局													○	徹底されている		
		② 木材の間伐材使用の推進	環境管理責任者													○	徹底されている		
6	他	8 環境への負荷自己チェック																	
	「採取データの精度UP」	「採取データの精度UP」	全職場													○	徹底されている		
		① 担当割り当てによる計量、測定	各担当者													○	徹底されている		
7	法 遵 守	9 法規制に対する対応																	
	① 環境関連法規取りまとめ	① 環境関連法規取りまとめ	EA21事務局													○	審査時に法規制確認(変更点等)		
		② 駆音、振動測定（騒音、振動に影響する生産設備の変化時に測定）	EA21事務局													×	2025年から実施		
		③ 処理委託業者の処理現場チェック	EA21事務局													○	継続実施		
8	緊 急	10 環境上の緊急事態の想定と訓練	環境管理責任者													○	漏電による延焼対策実施		
9	教 育	11 一般研修 「環境方針・環境目標の徹底」	環境管理責任者													×	業務多忙で参加できず		
	12 専門教育 「EA21活動を通して環境システム・環境法規の認識」	12 専門教育 「EA21活動を通して環境システム・環境法規の認識」	環境管理責任者													○	徹底されている		
		13 マネジメントレビューの実施(前年度分)	環境管理責任者	→												○	社長、常務、部長出席		
10	その他の	14 月次 環境への負荷の自己チェックシートの作成・評価	EA21事務局													○	毎月実施		
		15 年次 環境への負荷の自己チェックシートの作成・評価	EA21事務局	→												○	計画通り実施		
		16 環境への取組の自己チェックシートの作成	EA21事務局	→												○	マネジメントレビューと併せて実施		
		17 中期環境目標・活動計画の作成	EA21事務局	→												○	2023年に計画作成済、今期は中期計画2年目		
		18 年度及び活動計画書の作成	EA21事務局	→												○	計画通り実施		
		19 代表者による全体の評価と見直し	環境管理責任者	→												○	マネジメントレビュー後に作成		
		20 環境経営レポートの作成	EA21事務局	→												○	代表者による全体の評価と見直し後に作成		
		21 環境推進委員会	環境管理責任者	→												○	3か月ごとに実施(本社及び森町事業所全員参加)		
		22 エコアクション21 外部認証審査	環境管理責任者	→												○	計画より1か月前倒して実施		

# 【参考記載】2024年廃棄物累計リサイクル率

2024年度 リサイクル率



年度別 リサイクル率 推移



※リサイクル率につきましては、参考値として80%以上を目標としています。

※分類の『その他』は工場内の掃除で溜る砂、砂利、枯葉等の重量も含まれています。

当社はエコアクション21の一環として、購入原料の木材は  
**95%が間伐材(北海道産)**を使用しております。

※間伐材とは  
森林の成長過程で密集化する立木を間引く過程で発生する  
木材です。間伐は森林に対して、本数を調整するために行われ、  
森林の育成を保つための重要な作業です。  
現在、日本の森林は手入れが行き届かず充分な機能を果たせて  
いません。そこで適当な間隔で木を伐採することにより、  
林内には適度な光が入り活力ある健全な木が成長します。  
間伐を怠ると、森林の健全性が損なわれ、機能が発揮されません。



# VI. 2025年活動目標及び活動計画

## 活動目標

中期3カ年計画(2023年～2025年)の目標値は原単位で2021～2022年の実績値の平均値を維持することに努力／活動する事としています。

取組項目	単位	2025年 目標値	2026～2028年 目標値
CO2排出量	購入電力	kg-CO2	47,625
		kwh	113,824
		Kwh/売上高 (百万円)	313
	化石燃料	kg-CO2	4,187.6
		L	1,805
		L/売上高 (百万円)	4.95
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	47.4
		kg/売上高 (百万円)	0.13
	産業廃棄物	kg	703
		kg/売上高 (百万円)	1.93
総排水量	総排水量	m <sup>3</sup>	177
		m <sup>3</sup> /売上高 (百万円)	0.48
グリーン購入		グリーン購入適合商品検討 ・事務用品のグリーン化推進 ・木材の間伐材使用の推進	2025年末 目標値 決定予定 (2026年は 2025年目標値 ▲1%とする予 定)
化学物質管理		使用化学物質の内容を把握 ・SDSを保管 ・PRTR法対象物質の把握	
製品サービス		リサイクルしやすい製品の ・開発と可能性の検討	

# 2025年 活動計画

中期3カ年計画(2023年～2025年)の目標値は原単位で2021～2022年の実績平均値を維持することに努力／活動する事としています。

No.	取組項目	具体的活動内容	責任者	計画・実施履歴											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	二酸化炭素排出量削減	1 購入電力の削減													
		① 昼休みの消灯	全員												→
		② コンプレッサーの昼休みの停止	全員												→
		③ パソコン電源こまめにOFF	全員												→
		④ 低負荷照明器具の検討	管理者												→
		⑤ エアコン設定温度の厳守 暖房20度、冷房28度	全員												→
		2 化石燃料の削減													
		① アイドリングストップ	全員												→
		② 燃料給油時の空気圧チェック	全員												→
		③ 車輌整備の徹底	車輌管理者												→
2	廃棄物排出削減	3 一般廃棄物の削減													
		① 裏紙使用の徹底	全員												→
		② 紙による資料配布の低減	全員												→
		③ 印刷は、必ず設定確認後のスタート（印刷ミスの削減）	全員												→
		4 産業廃棄物の削減 「リサイクルによる削減」													
		① 廃棄物のリサイクル率の検証と向上	EA21事務局												→
3	化 物 学 質	② 分別廃棄の徹底	全員												→
		③ 納入業者への梱包材仕様の改善提案	職長を中心												→
		5 購入品のチェック													
4	多 生 様 物 性	① SDSの管理	EA21事務局												→
		6 環境負荷対策商品の利用													
		① 事務用品のグリーン化の推進	EA21事務局												→
5	グ リ ン 購 入	② 木材の間伐材使用の推進	環境管理責任者												→
		7 環境負荷対策商品の利用													
		① 事務用品のグリーン化の推進	EA21事務局												→
6	他	② 木材の間伐材使用の推進	環境管理責任者												→
		8 環境への負荷自己チェック													
		「採取データの精度UP」	全職場												→
7	法 遵 守	① 担当割り当てによる計量、測定	各担当者												→
		9 法規制に対する対応													
		① 環境関連法規取りまとめ	EA21事務局												→
8	緊 急	② 騒音、振動測定（騒音、振動に影響する生産設備の変化時に測定）	EA21事務局												→
		③ 処理委託業者の処理現場チェック	EA21事務局												→
		10 環境上の緊急事態の想定と訓練	環境管理責任者												→
9	教 育	11 一般研修 「環境方針・環境目標の徹底」	環境管理責任者												→
		12 専門教育 「EA21活動を通じ、環境システム・環境法規の認識」	環境管理責任者												→
		13 マネジメントレビューの実施(前年度分)	環境管理責任者												→
10	その他の取組	14 月次 環境への負荷の自己チェックシートの作成・評価	EA21事務局												→
		15 年次 環境への負荷の自己チェックシートの作成・評価	EA21事務局												→
		16 環境への取組の自己チェックシートの作成	EA21事務局												
		17 中期環境目標・活動計画の作成	EA21事務局												
		18 年度及び活動計画書の作成	EA21事務局												
		19 代表者による全体の評価と見直し	環境管理責任者												
		20 環境経営レポートの作成	EA21事務局												
		21 環境推進委員会	環境管理責任者												→
		22 エコアクション21 外部認証審査	環境管理責任者												→

## VII. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される下記環境関連法規に関して、2024年1月から12月末日までに、官公庁・顧客・近隣地域、従業員からの違反や訴訟等に対する問題の指摘・苦情はありませんでした。

環境関連法規取りまとめ / 遵守評価記録

承認印	作成日	2024年1月15日
	評価日	2025年1月10日
	評価者	小川 裕貴

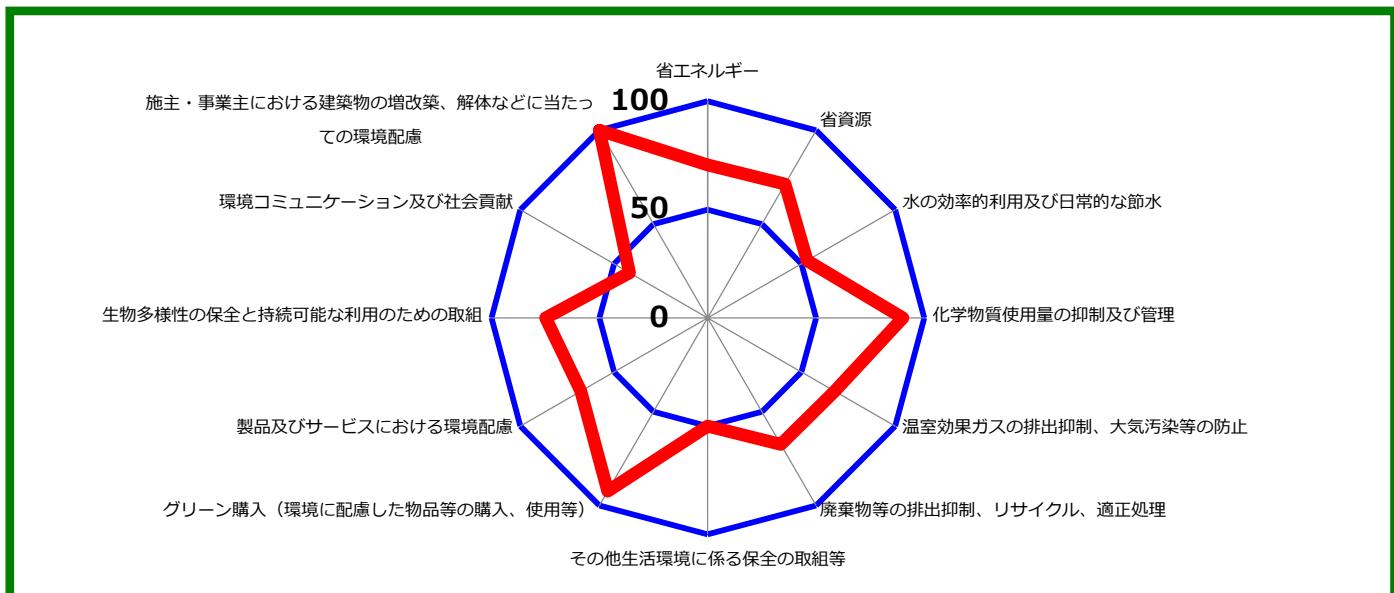
適用法令	規制値・基準値・要求内容等	該当する設備・項目	当社の遵守・管理項目	届出	資格	書類	関係資料	遵守評価
下水道法 (地下水規制対象地域外)	・廃水の基準の遵守		廃油等を放流しない					〇
騒音規制法	・特定施設の届出 ・昼間 55dB, 夜間50dB 以下 (静岡県条例3.75Kw)	空気圧縮機7.5Kw 1台	規制基準の遵守	○	○	○	設備届出書	2019年11月20日申請済 〇
振動規制法	・特定施設の届出 ・昼間 65dB, 夜間55dB 以下 (静岡県条例3.75Kw)	空気圧縮機7.5Kw 1台	規制基準の遵守	○	○	○	設備届出書	2019年11月20日申請済 〇
廃棄物処理法	・事業活動に伴つて生じた廃棄物は 自らの責任で適正に処理する。  ・静岡県廃棄物適正な処理に関する条例 (第8条～第11条)	廃ガラ・金属ケズ・紙類 木材ケズ・他	マニュフェスト交付⇒管理 B2,D,E票の5年間保管  毎年6月末迄に前年度分の数量を知事(保険所)に届出 (産業廃棄物管理票交付等状況報告書・報告書)  処理委託業者の処理現場写真 環境管理責任者の設置	○	○	○	マニュフェスト 届出書保管	〇 〇
PCB廃棄物 特別処理法	・保管場所を特定し施錠保管	・トランク 1台 (塩化処理・届出書)	毎年6月末迄に前年度中の保管・処理状況を届出	○	○	○	届出書保管	2016年6月15日 処分済み
PRTR法	・該当化学物質の使用、保管規制	・該当する薬品不使用	使用化学品のSDSを管理			○	SDS	〇
家電リサイクル法	・TV、エアコン、冷蔵庫の法にそった処理	TV、エアコン、冷蔵庫等	廃棄時に法の遵守(正規業者にて処理)					〇
自動車リサイクル法	・廃車時の法にそった処理	軽自動車、ワゴン車	廃棄時に法の遵守(正規業者にて処理)					〇
消防法	・火災報知機の設置 ・可搬ボンブの設置	・火災報知機	点検の実施	○	○			〇
クリーン購入法	・特定調達品目を出来る限り選択	・紙類・文具類・機器類 照明・作業服・手袋	新規購入時には常に検討					〇
フロン排出抑制法 (第一種)	・3ヶ月に1回以上の点検の実施	・コンプレッサー付常設設備の エアドライヤー設備 ・空調機 ・チラー(2020年10月追加)	点検の実施			○	報告書	〇

# VIII. 代表者による全体評価と反省

マネジメントレビュー実施日	2025年3月3日(月)	社長	環境管理責任者	事務局	
					
代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果					
事務局 評価		代表者コメント（代表者への報告以後記入）			
<b>I 環境目標（環境負荷低減目標）達成状況のレビュー結果について</b>					
<b>事務局</b> 購入電力は昨年3月に設置した太陽光パネルの効果もあり目標に対して45%減少しました。7～9月にかけて太陽光パネルの故障があつたため多くの電力がかかってしまいましたが、来期はさらなる減少が見込みます（修理済）。現場も±0生産を追及するため、生産負荷が変動しても減少させができるよう取り組みます。化石燃料の使用量はほぼ昨年と同等ですが、それ以上にヤマハ製品の在庫調整による売上の減少が大きく、原単位上は目標未達となりました。		<b>代表者</b> 原単位の目標を達成できなかった項目の要因はヤマハ船外機の市場在庫を適正化する為、大幅に生産を減少されたことによるものです。その中にあっても事業所として改善活動のPDCAをしっかりとまわしていることで実際の環境負荷低減は着実に進んでいると評価します。			
<b>II 環境活動計画（取組項目）の実施状況のレビュー結果について</b>					
<b>事務局</b> 今期も環境推進委員会は年4回開催しました。年後半の環境推進委員会ではカーボンニュートラルに対する各社の取組や目標の設置、脱炭素という時代的な背景を共有しました。年末にはカーボンニュートラルの目標値の設定及び中期計画のたたき台が完成し来期の活動に繋げて行きたいと思います。それに伴いEA21との相乗効果を期待し、9月に受けている審査を6月に前倒ししていきたいと思います。		<b>代表者</b> 年4回の環境推進委員会の開催を軸に活動のPDCAがまわっていると思います。またカーボンニュートラルについては目標値や中期計画を全員に共有化し進めてください。外部審査は提案通り6月実施とします。			
<b>III 法規制遵守状況のレビュー結果について</b>					
<b>事務局</b> 2024年1月～12月の監査を実施します。 官公庁及び近隣からの苦情はありませんでした。 特定管理化学物質に関しては、現在ありません。		<b>代表者</b> 現在、対象物質はありませんが取扱商品や設備などの生産変化がある場合は、法規制のチェックを実施し維持管理して下さい。また近隣からの苦情が入った場合は内容把握から対応まで敏捷に行ってください。			
<b>IV 環境システムのレビュー結果について</b>					
<b>事務局</b> チェック件数（合格件数） 確率（合格80%以上） 30 件 / 30 件 100% 問題は無いと判断します。		<b>代表者</b> システムの有効性を認めます。改善の必要性は、生じていません。今後のカーボンニュートラルの基本方針は、経営理念の「お客様と地域社会から信頼され全従業員が物心両面の幸せを感じる企業にします」とします。そしてカーボンニュートラルの合言葉は：「Sasten for the sustainable earth！」として推進していきます。			
<b>代表者による次年度への指示</b>					
見直し項目	変更の有無	指示事項、コメント等			
<b>I 環境経営方針について</b>	無				
<b>II 環境経営目標・計画について</b>	無	2021～2022年の平均をB Mとし同等レベルの維持継続の3ヶ年計画とする。来期は、3ヶ年計画の3年目。BMに対し△0%以上を目標値とする。			
<b>III 実施体制について</b>	無				
<b>IV 環境活動計画について</b>	無	生産量の変化（増減）があつてもしっかりと活動できるように計画してください。			
<b>V 法規制遵守について</b>	無	生産に変化があった場合は注意を怠らずチェックし維持管理してください。			
<b>VI 環境システムについて</b>	無	現状の継続。有効性を認めます。			
<b>VII その他</b>	無	環境経営方針の持続可能なものづくりの意識付けができる活動を計画実行すること。次期中期にカーボンニュートラル活動との関連準備をしておくこと。			
資源について	人	生産状況に合わせ人員を検討する。			
	物	生産に変化があった場合は検討する。			
	金	費用対効果を基準に判断する。			

## 環境への取組の自己チェック2024年 評価

施 策	チェック 結果の点数	満点の 場合の点数	施策実施 度合(%)
<b>1. 事業活動へのインプットに関する項目</b>			
1) 省エネルギー	173	208	83
2) 省資源	52	72	72
3) 水の効率的利用及び日常的な節水	31	42	74
4) 化学物質使用量の抑制及び管理	22	24	92
小 計	278	346	80
<b>2. 事業活動からのアウトプットに関する項目</b>			
1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	16	20	80
2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	102	126	81
4) その他生活環境に係る保全の取組等	10	10	100
小 計	128	156	82
<b>3. 製品及びサービスに関する項目</b>			
1) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用等）	31	34	91
2) 製品及びサービスにおける環境配慮	67	90	74
小 計	98	124	79
<b>4. その他</b>			
1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	18	24	75
2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	14	32	44
3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮	18	18	100
小 計	32	56	57
合 計	536	682	79





## サステン 創業からの100年

皆様に支持され、創業100年を迎えることができました  
これから先の新たな100年を信用、信頼を積み重ねるため

『人と人の絆を最も大切』にし、  
『仲間と力を合わせて共にチャレンジ』  
してまいります

～ 我が社の【心のこもった商品】たちです ～

